

## 【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年9月28日
【会社名】	味の素株式会社
【英訳名】	Ajinomoto Co., Inc.
【代表者の役職氏名】	代表執行役社長 西井 孝明
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋一丁目15番1号
【電話番号】	03(5250)8111
【事務連絡者氏名】	グローバル財務部 財務戦略グループ長 小林 佳世
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋一丁目15番1号
【電話番号】	03(5250)8111
【事務連絡者氏名】	グローバル財務部 財務戦略グループ長 小林 佳世
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2021年3月31日
【発行登録書の効力発生日】	2021年4月8日
【発行登録書の有効期限】	2023年4月7日
【発行登録番号】	3 - 関東1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 150,000百万円
【発行可能額】	150,000百万円 (150,000百万円) (注)発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額 (下段( )書きは、発行価額の総額の合計額)に基づき算出した。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、2021年9月28日(提出日)である。
【提出理由】	2021年3月31日に提出した発行登録書の記載事項中、「第一部証券情報 第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、本訂正発行登録書を提出する。
【縦覧に供する場所】	味の素株式会社本社 (東京都中央区京橋一丁目15番1号) 味の素株式会社大阪支社 (大阪市北区中之島六丁目2番57号) 味の素株式会社名古屋支社 (名古屋市昭和区阿由知通二丁目3番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

第一部〔証券情報〕

第1〔募集要項〕

<味の素株式会社第27回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）に関する情報>

1〔新規発行社債〕

（訂正前）

未定

（訂正後）

本発行登録の発行予定額のうち、金10,000百万円を社債総額とする味の素株式会社第27回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）（以下「本社債」という。）を、下記の概要にて募集する予定です。

券面総額又は振替社債の総額：金10,000百万円

各社債の金額：1億円

発行価格：各社債の金額100円につき金100円

償還期限：2028年10月以降（7年債）（注）

払込期日：2021年10月以降（注）

（注）それぞれの具体的な日付は利率の決定日に決定する予定であります。

2〔社債の引受け及び社債管理の委託〕

（訂正前）

未定

（訂正後）

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

引受人の氏名又は名称	住所
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号

（注）上記の通り、元引受契約を締結する金融商品取引業者を予定しておりますが、各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

3〔新規発行による手取金の使途〕

（1）〔新規発行による手取金の額〕

（訂正前）

未定

（訂正後）

本社債の払込金額の総額10,000百万円（発行諸費用の概算額は未定）

（2）〔手取金の使途〕

（訂正前）

社債償還資金、短期社債償還資金、借入金返済資金、設備投資資金、投融資資金又は運転資金に充当する予定であります。

（訂正後）

社債償還資金、短期社債償還資金、借入金返済資金、設備投資資金、投融資資金又は運転資金に充当する予定であります。

本社債の手取金は、全額を別記〔募集又は売出しに関する特別記載事項〕欄に記載するサステナビリティファイナンス・フレームワークの対象プロジェクト（ニュアルトラ社（アイルランド）の株式取得、タイ味の素社カンペンペット工場におけるバイオマスコジェネレーション設備導入及びつばめBHB株式会社への出資（アンモニアオンサイト生産技術研究開発））に係る支出に関する資金に充当する予定であります。

なお、実際の充当時期までは、現金又は現金同等物として運用予定です。

「第一部 証券情報 第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

〔募集又は売出しに関する特別記載事項〕

<味の素株式会社第27回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）に関する情報>

サステナビリティボンドとしての適格性について

当社は、本社債についてサステナビリティボンドの発行のために国際資本市場協会（以下「ICMA」という。）の「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021年版」（注1）、「ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2021年版」（注2）、「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2021年版」（注3）に則したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定し、株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」という。）より原則等に適格である旨のセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

（注1）「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021年版」とは、ICMAが事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドライン。

（注2）「ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2021年版」とは、ICMAが事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドライン。

（注3）「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2021年版」とは、ICMAにより策定されているサステナビリティボンドの発行に係るガイドライン。

サステナビリティファイナンス・フレームワークについて

当社は、サステナビリティボンド発行を目的として、グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則及びサステナビリティボンド・ガイドラインが定める4つの要件（調達資金の用途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポーティング）に適合するサステナビリティファイナンス・フレームワークを以下のとおり策定しました。

#### 1. 調達資金の用途

サステナビリティボンドで得た資金の用途については、下記の対象プロジェクトに充当する予定です。

##### （1）ソーシャルプロジェクト

ニュアルトラ社（アイルランド）の株式取得

- ・高エネルギー・高たんぱく医療食品（オーラルニュートリションサプリメント（ONS）製品）を開発し、英国とアイルランドで販売しているニュアルトラ社（アイルランド）の株式取得資金
- ・食品・アミノサイエンス事業で培った「おいしさ設計技術」やアプリケーション技術、アミノ酸の生理機能に関する知見を、ニュアルトラ社のONS製品に適用することで、ONS製品の課題（味、バラエティ等）を解決し、ユーザーのQOL向上に貢献
- ・当社のネットワークを活用し、ONS製品を世界的に普及

##### （2）グリーンプロジェクト

タイ味の素社カンペンペット工場におけるバイオマスコジェネレーション設備導入

- ・電気及び蒸気のエネルギーを削減する目的で、バイオマス燃料である籾殻を用いたコジェネレーション設備を導入
- ・特に経済成長が著しく、今後も事業成長が見込まれる東南アジアでのCO2排出量の増加抑制は、当社グループにとって重要な課題との認識。タイ国内の精米所で発生する大量のもみ殻を有効活用し、環境負荷を低減させる

つばめBHB株式会社への出資（アンモニアオンサイト生産技術研究開発）

- ・当社及びユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社、東京工業大学の細野秀雄教授らと共に、世界で初めてとなるオンサイトでアンモニアを自製化する技術の実用化を目指す新会社である、つばめBHB株式会社を設立
- ・2017年の設立時に約2億円、2019年の増資時に約5億円の合計7億円を出資
- ・アンモニアのオンサイト生産による、輸送に係るCO2削減を進める

## 2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

調達資金の用途となるプロジェクトは、グローバル財務部が各責任部門と適格性について協議の上、評価・選定を実施します。適格性基準に沿っているか検討されたプロジェクトについて、財務担当の執行役が味の素グループの理念及びグループビジョンとの整合性を踏まえ、統合的に分析・検討をした上で最終決定を行い、選定結果は当社の経営会議で報告しました。

## 3. 調達資金の管理

調達資金の管理はグローバル財務部が行います。同部にて対象プロジェクトにかかる支出を管理し、資金の充当額及び未充当額を追跡します。資金充当状況については、年次でグローバル財務担当役員及びサステナビリティ推進担当役員による確認を行い、当社ウェブサイトにて公表します。

また、調達資金は概ね2年程度を目途に充当する予定であり、調達資金が充当されるまでの間は、現金又は現金同等物にて管理します。

## 4. レポートニング

### 1) 資金充当状況に関するレポートニング

資金充当状況に関しては、調達資金が全額充当されるまで年1回、充当状況をウェブサイト上に開示します。資金充当完了後も、資金用途の対象となるプロジェクトに当初の想定と異なる事象が発生した場合、当該事象及び未充当資金の発生状況に関し、当社ウェブサイトですばやく開示を行います。

### 2) インパクト・レポートニング

調達資金の全額が対象プロジェクトに充当されるまでの期間において、対象プロジェクトのインパクト・レポートニングとして、守秘義務の範囲内において以下のアウトプット指標・アウトカム指標等を、当社ウェブサイトにて年に1回開示します。

対象プロジェクト	インパクト・レポートニング		
	アウトプット (プロジェクトの進捗・結果)	アウトカム (課題解決に伴う効果)	インパクト (アウトカムから発現する効果)
ニュアルトラ社(アイルランド)の株式取得	・味の素グループとのシナジー(市場拡大、販路、開発を進めているオーラルニュートリションサプリメント(ONS)製品の数、等)	・発売されたONS製品の数	・高齢者の健康をサポート及びQOLの向上 ・ONS製品の味の向上、バラエティーの拡充
タイ味の素社カンペンベット工場におけるバイオマスコジェネレーション設備導入	・バイオマスボイラー・コジェネレーションの導入	・購入電力(非再生エネルギー)、燃料オイル削減を通じた温室効果ガス削減率 (TCFDに対応した情報開示) (計画上: 46%)	・気候変動緩和に資する温室効果ガス排出量抑制 〔FY25: 30%削減(対FY18)〕 〔FY30: 50%削減(対FY18)〕(スコープ1、2総量)
つばめBHB株式会社への出資(アンモニアオンサイト生産技術研究開発)	・オンサイトアンモニア生産の実用化(1.味の素グループでの実証機の導入、2.他社での実証機導入、3.グリーンアンモニア生産の実現)	・温室効果ガス削減率 (TCFDに対応した情報開示)	・気候変動緩和に資するCO2排出量抑制 〔FY25: 30%削減(対FY18)〕 〔FY30: 50%削減(対FY18)〕(スコープ1、2総量)